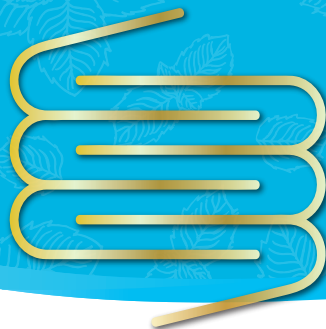


お客様用

IBS

過敏性腸症候群改善薬

コルペルミン®



ゼリア新薬工業株式会社

1. この薬は？

販売名	コルペルミン
有効成分	セイヨウハッカ油（ペパーミントオイル）
含有量（1カプセル中）	ペパーミントオイル187 mg
薬効名	過敏性腸症候群（IBS）改善薬



コルペルミンは、欧州においてIBSの治療に長年にわたり使用されてきたペパーミント（*Mentha piperita* L.）のオイルを有効成分とする医薬品です。有効成分のペパーミントオイルが腸に直接働いてIBSの症状を改善します。

2. この薬の効果は？

効能・効果	過敏性腸症候群の次の諸症状の緩和：腹痛又は腹部不快感を伴い、繰り返し又は交互に現れる下痢及び便秘（以前に医師の診断・治療を受けた人に限る。）
-------	--

過敏性腸症候群（IBS：irritable bowel syndrome）は、大腸や小腸に潰瘍や腫瘍などの病変がないにもかかわらず、下痢や便秘などの便通異常を伴う腹痛や腹部不快感が、慢性的にくり返される病気です。

主な症状は、腹痛又は腹部不快感、それに関連した便通異常（下痢、便秘、交互にあらわれる下痢及び便秘）です。他にも腹部膨満感（お腹が張る）、腹鳴（お腹がゴロゴロ鳴る）、鼓腸（ガスがたまっていたとボンボンと鼓を打つような音がする）、残便感といった腹部症状があらわれることがあります。



IBSは、便の形から4つのタイプに分類されます。

便秘型	硬い便やコロコロ便（うさぎのふんのような便）が多いタイプ
下痢型	泥状便や水様便が多いタイプ
混合型	硬い便/コロコロ便（うさぎのふんのような便）になったり、泥状便/水様便になったり、便秘と下痢を交互に繰り返すタイプ
その他	どれでもない

本剤は、IBSの諸症状を改善する医薬品であり、下痢型の方、便秘型の方、下痢と便秘を繰り返している方のいずれのタイプに対しても効果を発揮します。

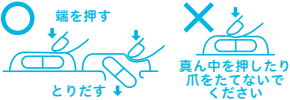
3. この薬を使う前に、確認すべきことは？

使用上の注意	解説
1. 次の人は服用しないでください。	
医師から過敏性腸症候群の診断・治療を受けたことがない人	以前に医師からIBSの診断・治療を受けたことがない人は、他の疾患の可能性もありますので、医療機関を受診してください。
過敏性腸症候群の再発かどうかよくわからない人（例えば、今回の症状は、以前に過敏性腸症候群の診断・治療を受けた時と違う）	今回の症状が、以前にIBSの診断・治療を受けた時と違うかどうかよくわからない人は、他の疾患の可能性もありますので、医療機関を受診してください。例えば、過去にIBSと診断された後、本症状に関して、長期間医療機関を受診しておらず、今回の症状は、以前にIBSの診断・治療を受けた時と違うかどうかよくわからない等。

就寝中などの夜間にも、排便のためにトイレに行きたくなったり、腹痛がある人	
発熱がある人	
関節痛がある人	
粘血便（下血）がある人	
繰り返すひどい下痢がある人	
急性の激しい下痢がある人	
排便によってよくならない腹痛がある人	症状が類似するものには大腸がん、炎症性腸疾患（潰瘍性大腸炎、クローン病等）等の疾患があります。これらを見落とさないようにするため、医療機関を受診してください。
嘔吐がある人	
6ヵ月以内に、体重が3kg以上、予期せず減少した人	
次の病気にかかったことのある人。 大腸がん、炎症性腸疾患（クローン病、潰瘍性大腸炎等）	
本剤又は本剤の成分によりアレルギー症状を起こしたことがある人	本剤又は本剤の成分によりアレルギー症状を起こしたことがある人は、本剤によりアレルギー症状を起こすおそれがあります。
著しく胃酸が少ない状態が持続する人（無酸症）	無酸症の人は、腸溶カプセルである本剤が胃内で崩壊する可能性があり、カプセルからペパーミントオイルが放出され、胸やけを起こすことがあります。
医療機関で次の治療を受けている人 肝臓病、胆管閉塞、胆のう炎	肝臓病の人では、ペパーミントオイルに含有されているL-メントール等の肝臓での代謝が抑制され、胆管閉塞、胆のう炎の人では、代謝物の胆汁中への排泄が抑制される可能性があります。したがって、肝臓病、胆管閉塞、胆のう炎の治療を受けている人は本剤を服用しないでください。
2. 本剤を服用している間は、次のいずれの医薬品も服用しないでください 過敏性腸症候群（IBS）の症状改善薬、制酸剤	本剤と同じ効能・効果を有する要指導・一般用医薬品との併用により、作用の増強や副作用発現の可能性もあります。また、制酸剤との併用により、カプセルからペパーミントオイルが放出され、胸やけを起こすことがあります。
3. 服用前後は飲酒しないでください	アルコールとともに本剤を服用するとペパーミントオイルの吸収が促進され、副作用があらわれやすくなる可能性があります。
4. 次の人は、慎重に服用する必要があります。服用する前に医師又は薬剤師に相談してください。	
医師の治療を受けている人	医師の治療を受けている人は、服用する前に医師又は薬剤師に相談してください。
妊婦又は妊娠していると思われる人	妊婦又は妊娠していると思われる人、及び授乳中の人では、本剤の服用において注意が必要です。服用前に医師又は薬剤師に相談してください。
授乳中の人	
薬などによりアレルギー症状を起こしたことがある人	薬などによりアレルギー症状を起こしたことがある人は、本剤によってアレルギー症状を起こすおそれがあります。
50歳以上の人	
貧血がある人	
次の診断を受けた人 糖尿病、甲状腺機能障害、副甲状腺機能亢進症	他の疾患の可能性もありますので、服用前に医師又は薬剤師に相談してください。
大腸がん、炎症性腸疾患の家族がいる人	
腹痛、便秘がひどい人	症状がひどい場合には、本剤だけでは十分な効果を得られない可能性があるため、服用前に医師又は薬剤師に相談してください。
胸やけがある人	服用前に胸やけがあると、本剤の服用によって胸やけが悪化するおそれがあります。

4. この薬の使い方は？

使用上の注意	解説
用法・用量	成人（15歳以上） 1日3回、1回1カプセルを食前又は食間に服用。
服用のタイミング	本剤は食前又は食間に、毎日服用してください。 食事とともに服用することはさけてください。（胸やけを起こすことがあります。）
効果発現の時期	用法・用量を守って毎日服用すると1~2週間程度で症状の改善を自覚できる可能性があります。2週間服用しても症状がよくなる場合は、他の疾患の可能性もありますので、服用を中止し、医師又は薬剤師に相談してください。
服用を忘れた場合	気付いた時点で、1回分を食前又は食間に服用してください。 例えば食前の服用を忘れて食事中に気づいた場合は、食事の2時間後（食間）を目安に服用してください。 なお、次の服用時に2回分を一度に服用することはできません。
誤って多く服用した場合	副作用があらわれる可能性があります。異常がある場合は医師又は薬剤師に相談してください。 異常がない場合は次の服用時から定められた用法・用量を守って、服用してください。
服用に関連する注意	本剤は腸溶性のカプセルですので、かんだり、つぶしたり（割ったり）せずに、そのまま服用してください。（胸やけを起こすことがあります。）
カプセルの取り出し方	図のようにカプセルの入っているPTPシートの凸部の端を軽く指先で押し、裏面のアルミ箔を破り、取り出して服用してください



5. この薬の服用中に気をつけなければならないことは？

使用上の注意	解説								
1. 服用後、次の症状があらわれた場合は副作用の可能性があるので、直ちに服用を中止し、添付文書を持って医師又は薬剤師に相談してください。									
<table><tr><th>関係部位</th><th>症 状</th></tr><tr><td>皮 膚</td><td>発疹・発赤、かゆみ</td></tr><tr><td>消化器</td><td>胸やけ、吐き気・嘔吐、 肛門部の刺激感、胃出血</td></tr><tr><td>その他</td><td>頭痛、脈が遅くなる、排尿時の 刺激感、目のかすみ</td></tr></table>	関係部位	症 状	皮 膚	発疹・発赤、かゆみ	消化器	胸やけ、吐き気・嘔吐、 肛門部の刺激感、胃出血	その他	頭痛、脈が遅くなる、排尿時の 刺激感、目のかすみ	本剤の服用によりあらわれる可能性がある副作用です。 これらの症状が確認された場合は、直ちに服用を中止し、 医師又は薬剤師に相談してください。
関係部位	症 状								
皮 膚	発疹・発赤、かゆみ								
消化器	胸やけ、吐き気・嘔吐、 肛門部の刺激感、胃出血								
その他	頭痛、脈が遅くなる、排尿時の 刺激感、目のかすみ								
まれに下記の重篤な症状が起こることがあります。その場合は直ちに医師の診療を受けてください									
<table><tr><th>症状の名称</th><th>症 状</th></tr><tr><td>ショック （アナフィラキシー）</td><td>服用後すぐに、皮膚のかゆみ、 じんましん、声のかすれ、くしゃみ、 のどのかゆみ、息苦しさ、動悸、 意識の混濁等があらわれる。</td></tr></table>	症状の名称	症 状	ショック （アナフィラキシー）	服用後すぐに、皮膚のかゆみ、 じんましん、声のかすれ、くしゃみ、 のどのかゆみ、息苦しさ、動悸、 意識の混濁等があらわれる。	これらの症状が確認された場合は、直ちに医師の診療を受けてください。				
症状の名称	症 状								
ショック （アナフィラキシー）	服用後すぐに、皮膚のかゆみ、 じんましん、声のかすれ、くしゃみ、 のどのかゆみ、息苦しさ、動悸、 意識の混濁等があらわれる。								
2. 2週間服用しても症状がよくなる場合は服用を中止し、この添付文書を持って医師又は薬剤師に相談してください	他の疾患の可能性もありますので、服用を中止し、医師又は薬剤師に相談してください。								
3. 症状の改善がみられても3ヵ月を超えて続けて服用する場合は、医師に相談してください	症状の改善がみられても、この期間を超えて服用の継続を希望する場合は、医師に相談してください。								

6. この薬に含まれているのは？

有効成分	セイヨウハッカ油（ペパーミントオイル）（1カプセル中187 mg）
添加物	サラシミツロウ、ラッカセイ油、軽質無水ケイ酸、メタクリル酸コポリマーS、メタクリル酸コポリマーLD、クエン酸トリエチル、モノステアリン酸グリセリン、マクロゴール、タルク、ゼラチン、青色2号、酸化チタン

7. その他

この薬の保管方法は？

- (1) 直射日光の当たらない湿気の少ない涼しい所に保管してください。
- (2) 小児の手のとどかない所に保管してください。
- (3) 他の容器に入れかえないでください。（誤用の原因になったり品質が変わることがあります。）
- (4) 使用期限を過ぎた製品は服用しないでください。

食事・生活習慣の改善をお勧めします。

- ・三食、規則正しい時間に食事をする。
- ・ゆっくり良くかんで食べる。
- ・バランスの良い食事を心がける。
- ・暴飲・暴食は避ける。
- ・症状（下痢・便秘）により、食事内容に注意する。



下痢型

- ・脂肪分の多い食事を控える。
- ・アルコール、カフェインを大量に摂取しない。
- ・冷たいものを控える。
- ・香辛料など、刺激の強いものを控える。

便秘型

- ・十分に水分をとる。
- ・食物繊維を摂取する。
- ・ヨーグルトなど乳酸菌を含む食品を摂取する。
- ・香辛料など、刺激の強いものを控える。

- ・規則正しい生活を心がける。
- ・十分な睡眠・休養をとる。
- ・朝食後は、便意がなくなるとトイレにいく習慣を身につける。
- ・禁煙につとめる。
- ・適度な運動、趣味などで気分転換をする。

お問い合わせ先

本剤のご使用により、変わった症状があらわれるなど、何かお気づきの点がございましたら、お買い求めのお店又は下記までご連絡いただきますようお願い申し上げます。

製造販売元



ゼリア新薬工業株式会社
〒103-8351 東京都中央区日本橋小舟町10-11

お客様相談室 ☎03-3661-2080
受付9:00~17:50（土・日・祝日を除く）